

平成15年度 第3回院内集談会

日時：平成15年9月11日（木）

演者：Peter Phalan 先生（アルバータ小児病院麻酔科医師）

演題：小児の緩和ケア（癌性疼痛に対処する）

演者の10年以上にわたる難治性疼痛をもつ子ども達の治療経験に基づいての力のこもった講演であった。基本的な方針として、痛みの末梢即なら中枢側に向かって段階的に除痛対策をとる。局所麻酔薬の皮下局部浸潤から始まり、末梢神経ブロック、神経叢ブロック、硬膜外ブロック、くも膜下腔ブロックへと進んで行く。

アルバータ小児病院では、長期的にくも膜下腔にカテーテルを埋め込んで難治性疼痛の治療に応用している。チームアプローチを大変必要とする。